

えでぴあ

立川と語ろう 立川に生きよう

October 2017

Écoutez Bien Vol.35 No.395

10

東京陸協 副会長に2020を聞く



砂川唯一の山 「金毘羅山」 の由来

案内人：豊泉喜一氏

砂川は東西2里8丁およそ9kmの間、全く平坦な地形で多少の凹凸はあるものの自然にできた山は存在しない。ただひとつ砂川町3丁目に約10mほどの金毘羅山が存在するが、当然この山は自然にできたものではなく、人工の山である。

この山の造立については、諸説ある。玉川上水を掘ったときの残土説や、近くにあった水田を作る時に出土した残土を盛った説などあるが、いつ、誰が何のためにこの山を築いたのかはわからなかった。

ところが、砂川新田開発時、最初に入植した柴分け6人衆と言われる旧家から、平成16年、この山の造立をしたときの関係書類が発見され、長年不明であった造立の経緯や由来が明らかになった。この書類は幕末の文久3(1863)年正月、11日間に近郷近在の延べ210カ村以上の村々から、およそ1100名ほどが協力して富士塚を築いた記録で、「富士山築立信心連名帳」「富士山講連名帳」「富士山開諸入用控帳」の3冊である。

この文書を見て驚くのは何よりも、この富士塚築立に現所沢市周辺の安松、藤沢、北野や入間市の他、埼玉郡、足立郡、その他八王子、あきる野をはじめ周辺の各村々から、男女多数の人々が参加していることである。この人たちは現在のような交通手段がなかった時代、凡そ12kmを徒歩で往来して築立に参加、重機やトラックなどない時代、鍬やもっこなど殆ど人力であれだけの土を集め盛り上げた人たちの汗と努力の結晶である。

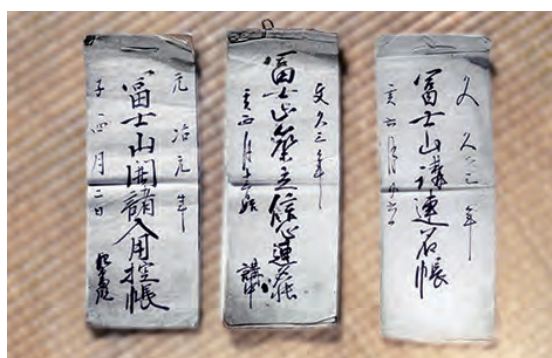
この作業に参加したのは、江戸時代広く信仰を集めていた「富士講」の信者たちだ。現在のように手軽に富士山に登れないため、身近な所に富士塚をつくりここに浅間神社を祀って富士山のご利益を得ようとしたもので、現在でも都内各所に100カ所以上存在し、立川でも富士見町にもう1つある。

ところで富士塚として造立されたこの山には、富士浅間神社の他、金毘羅宮、秋葉神社の三社が祀られ、なぜか富士塚とか浅間神社と呼ばれずに金毘羅山と呼ばれるようになり、金毘羅橋、金毘羅橋会館など周辺の施設は金毘羅の名がつくようになった。一般的に金毘羅宮は水運の守として知られているが、明治初期玉川上水が通船に使われた時、船の安全を祈って祀られたと考えられるが、これを裏付ける資料は見当たらない。

この山が富士塚であったことは「富士塚築立信心連名帳」が出て初めて証明されたもので、この連名帳が出てこなければ富士塚の存在は不明のままだったかもしれない。



金毘羅神社と並んで祀られる富士浅間神社



左から「富士山開諸入用控帳」「富士山築立信心連名帳」「富士山講連名帳」



小川、柚木、八王子などの地名が読み取れる女性の名前も多い

頂上に祀られる金毘羅神社、中腹には秋葉神社が祀られている

砂川陸協から陸連へ

日本の陸上競技を陰で支えてきた半世紀

正月に市役所をスタート地点として行われる市民駅伝大会。

毎年、この人の姿がそこにある。

立川の、否、東京の陸上を支えてきた大物だ。

——今季から副会長になりました。

田中 もう後は新しい理事長に渡して、自宅待機になりました。

——立川のお生まれなんですか？

田中 私は砂川なんですよ。砂川は運動が盛んだったから、町内の駅伝大会なんてやってましてね、運動会っていうと引っぱり出されて、駆けたことはある(笑)。学生時代も陸上部でした。同期には馬場孝が1万mのアジア大会優勝者です。

——経歴を拝見すると、陸上界の重要ポストにどんどん就いていかれるんですね。

田中 2009年から2013年まで一般社団法人東京陸上競技協会の専務理事をやっていたのですが、この後が大変だったんです。2013年に法人法が変わり、日本体育協会、東京体育協会からの指示で、我々はその下部機関ですから、法人の在り方を変えなければならなかった。それで公益財団法人を作ってしまった。日本陸上競技連盟に加盟する都道府県陸上競技協会としては、全国で初めての公益財団法人になりました。公益財団法人なのは東京陸協だけで、あとは一般財団ですね。まだ法人になっていないところもあります。なぜそうしたかという、陸連も公益財団法人なのですが、東京陸協も財団法人になるということは、つまり並列なのだよということです。

——東京陸協には相当力があるということ。田中さん、親分みたい(笑)。すごいですね。

田中 ちょっとすごくはないんだけどね。でも、3年で一般社団法人から公益財団法人にするというのは、なかなかできることでは

ないです。我々も東京都を代表する財団ですからね、東京都を代表するということは日本を代表することになるでしょう。その認識に立っていないといけないと思うわけです。

——立川に箱根の予選会を誘致したのも田中さんですよ。

田中 私が東京陸協の審判部長だった時、何かの大会で前の国立競技場にいた時、関東学連会長の丸山吉五郎先生が会いたいとおっしゃってね。お会いしたら、「箱根の予選会を立川でやりたいんだ」とね。聞くと昭和記念公園でやりたいということだったんですよ。箱根の予選会はあちこちで誘致したくて、お金を出すから来てほしいと言っていると聞いていたのですね、「わかりました」と。「予選会の環境は整えます。しかし立川はお金が無いので一銭も出しません」と受けたんですよ。それから、今、立川陸協の会長をやっている坪内くんと一緒に立川警察で交渉してね。大変なんですよ、コースを作るっていうのは。

——そうですね。一度坪内さんに密着取材したことがあるのですが、坪内さんあちらで頭ばかり下げていらっしゃいました。

田中 いやいや、今でも大変だと思いますよ。環境を整えるということは競技の場を最大限整えるということですから。自衛隊の滑走路も最初はコースになかったんですよ。警察署に行きましたらね、警察署長の方から「自衛隊の中を使ったらどうですか?」って言ってね。そんなもの、我々が行って頼んだって木で鼻括られるだけですよと答えると、警察署長が自分で行ってくれたんですよ。

——全然知らなかった。すでに予選会の取材はしていましたが、知りませんでした。

田中 誰も知らないんですよ。当時の警察署長が自分で駐屯地に行って当時の駐屯地司令に会って、話してくれました。自衛隊では防衛省に電話をかけてね、そうしたら防衛省で使わせてやれと。その代わり、自衛隊を、駐屯地を宣伝してもらえと、そういうことだったんですよ。当時はもう予選会も全国ネットでしたからね、いい宣伝になります。

——そうだったんですか。その後の関東学連会長の青葉先生は予選会を埼玉に持って行きたいと考えていたのではないですか？

田中 そうですよ。青葉さんは埼玉陸協の副会長だったのかな。それで大宮とか上尾の市長と話して、上尾でやっているハーフマラソンに乗っけようとしたんですが、各大学の監督などから大反対されてね(笑)。

——そうですね、学生に取材すると、立川のコースは走りやすいつて。

田中 そりゃそうですよ、平らだし。私が坪内くんにもすごく厳しく言ったのは、箱根の予選会はどこへでも行く可能性があるんですよ。みんな狙ってるんだから。だから、どこにも行けない環境を作れと。飛行場の滑走路なんて、どこも使わせてくれないですよ。

——滑走路でのスタートを撮影して、私たちはゴールを目指して、昭和記念公園を横断するのですが、うかうかしているとトップの選手が先にゴールしちゃうんですよ。

田中 (笑) そりゃ、速いもの。誘致するとさね、立川警察では「半日も交通規制はで

田中利雄 氏

砂川町生まれ、砂川町育ち。若い頃には砂川闘争にも参加した生粋の砂川人。陸上との関わりは砂川陸上競技協会から。1994年立川市陸上競技協会会長、2009年から立川陸協では顧問。一方で1983年、社団法人東京陸上競技協会代表委員、1985年同協会専門委員、1997年同協会理事(現在まで20年間)、審判部副部長、審判部部長を経て、2009年一般社団法人東京陸上競技協会専務理事、2013年公益財団法人東京陸上競技協会代表理事・理事、2017年6月1日より(公財)東京陸上競技協会副会長。1999年から2013年の間に、日本陸上競技連盟の評議員、競技運営委員会副委員長、理事、評議員を歴任。受賞歴多数。まさに陸上人生を貫いている。

きない」と言ったんですよ。立川マラソンと同じに考えていたんですね。だから、何を言ってるんですか、予選会は確かに500人近く走りますよ、と。だけどね、蜜蜂が女王蜂に群がってひと塊になると同じで、団子になって走り抜けるから、30分も止めてくれればそれで結構と。それで高島屋の前も通すようにしたんです。日本全国探しても、ああいうレイアウトのコースを作るのは無理ですね。

——予選会も楽しみですが、お正月も楽しみですね。元旦は実業団だし。

田中 私はあまり実業団が好きじゃない(笑)。1人が走る距離が短いでしょう。箱根はみんなほぼ20kmですよ。だから私が常々言っているのは、箱根に出ている選手は実業団にやるな、ということです。マラソンに出せと。私は東京マラソンの理事でもあります(笑)、箱根の選手は東京マラソンに出せとね。

——でも、箱根の選手はマラソンに転向してもなかなか結果が出せないですよ。

田中 そりゃ潰すからですよ。やり方が悪い。ロングの選手はロングの練習をさせなきゃ。マラソンは30km過ぎて劇的に面白くなりますよね。指導者の在り方というのは重要ですよ。田英夫さんが長いこと東京陸協の会長をしてくださったのですが、「強い東京」を作ろうとおっしゃった。でも全然強くならない。そこで、キャッチフレーズを「強い東京」から「勝つ東京」に変えさせました。キャッチフレーズを変えて何をするか。強い選手を集める、ではない。私たちがやったことは、指導者を全部入れ替えた。素材はあるわけです。その素材をどう育てていくか、それが指導者ですよ。そうしたら結果が出てきたわけです。勝てる東京になった。なかなかね、一流選手というのは指導者になるとうまく子どもを育てられない。自分の自慢話ばかりしていてね、だから言う

んですよ。「お前のことなんか知ってる子ども、今じゃひとりもないぞ」って(笑)。——確かに(笑)。立川にもマラソンがあります。

田中 以前ゲストラナーを呼んでいました。それは必要ないと止めたのは私です(笑)。なぜなら、あのハーフマラソンは、国内全日本の学生チャンピオンシップなんですよ。箱根を走っている

学生が来ている。有名な選手がいっぱい来ているわけですから、それを宣伝した方がよっぽどいい。

——箱根まで行かなくても有名選手を見られるビッグチャンス。

田中 ただね、学生のチャンピオンシップと言いながら女子が来っていない。以前は男女一緒というのはルールでだめだったんですが、今はいいんですよ。

——それならすぐやりましょうよ。いつからですか？

田中 ところが(笑)。

——ところが、なんですね(笑)。

田中 今、女子のチャンピオンシップをやっている地方へ話を持って行ったところ、断られたんです(笑)。そりゃそうですよ。チャンピオンシップが抜けたら、ただの町の運動会ですから。実現までにはちょっと時間がかかりますね。

——オリパラに向けて、立川にも賑わいが来るんじゃないかななんて思っている向きもありますか…。

田中 だったらグラウンドを整備しないと。もう15年も前に市議会を通った話なのに、

いまだに整備できていない。オリンピック間近になったら、各国が練習場として都内のグラウンドを使うんですね。実際、世田谷競技場はアメリカが借りることになりました。——今からでも間に合うんですか？

田中 作らなきゃ話にならないですよ(笑)。——ああ、それで立飛さんがアリーナを急いだんですね。

田中 こちらで用意をしてオリパラ準備室に宣伝して誘致していかないとだめですよ。——2020には東京陸協の役割って大きなものですね。

田中 それはもう今の理事長に任せて。ただ主体的に動いていかないといけないと思いますね。言われてやっているようでは進まない。希望論で終わってしまいます。運営上の大変さはもちろんですが、オリンピックはまだしも、その後のパラリンピック。これは大変です。我々も国際大会など、いろいろ経験していますが、このパラリンピックをきちんと乗り越えられるようにしなければね。どこまで責任もって、どこからは越権行為になるか。しっかりわきまえていく必要がありますね。



東京の最高峰 雲取山

奥に『雲取山西暦二千十七年記念』のモニュメント

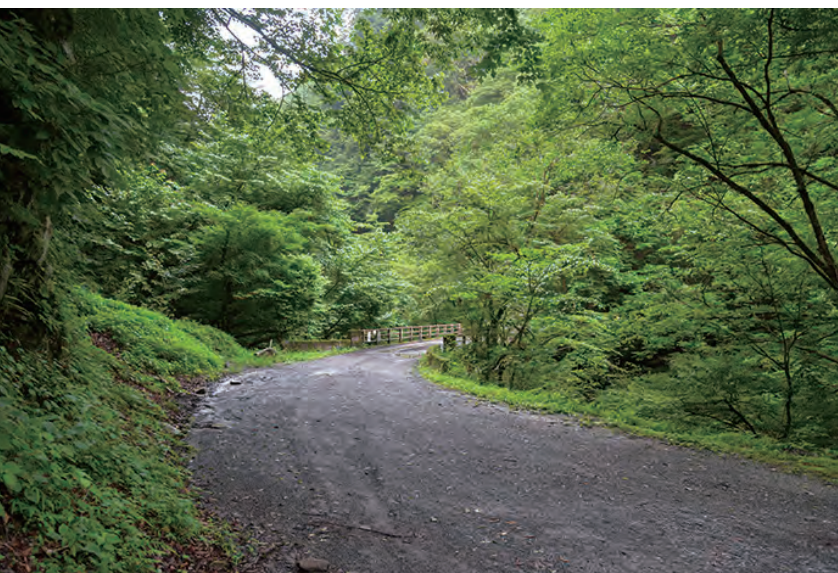
『立川から見える山』番外編

登った人・撮影：中村 伸

えくてびあんが得意としてきた「山シリーズ」。

2011年以降は山登りできずにいたが、2017年の本年、標高2017mの雲取山の年だということではないか。

これはやっぱり登らず終わるわけにはいかないということで、行ってきた。



八丁橋 この奥にゲートがある

雨の日が続く8月。晴れを待っていてもなかなか止まない雨に、それでも降らないという予報の日を選んで決行した。8月12日夜。奥多摩日原街道から日原林道へ進み、通行止めゲートのある八丁橋へ向かう。ここで一泊。

13日朝、ゲートから先を自転車に進む。乗ったり押したりしているうちに、登山道の入口に到着。自転車を林道のガードロープにくくりつける。ここから一気に日原川に向かって下り、吊り橋を渡ると奥多摩屈指と言われる急登が始まる。傾斜も緩む頃には視界も開け、妖精が住んでいそうな美しいブナの林と緑の絨毯が、我々を迎え入れてくれる。空も明るくなり、時々日が差してくる。いけるかも！

立ち枯れのブナの幹に、香りのよい美味しそうなキノコが密生している。毒性の強いツキヨタケのようにも見える。こんな目立つところにあって誰も取らないのだから、当然毒キノコだろう。そのまま通り過ぎる。

まもなく稜線に上がろうかというところで、雨が降りだしてきた。しかもどんどん強くなってくる。さっきの日差しは何だったんだー！

瞬く間に登山道が水たまりになる。それを避けて歩く。でもすぐに靴の中と外が同じ環境になる。そうなったらしめたもの、少々水たまりは気にせず、ただ前に進む。胸の丈ほどのある笹原を泳いで行くと、小雲取山に出た。稜線上の緩やかで広い登山道を進み、最後の登りで一気に雲取山頂へ。

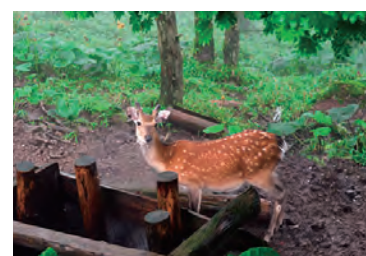
雨のためか、山頂には人がいない。本来なら山頂で景色を眺めながらの休憩というところなのだが、超満員の避難小屋。

下山も小雨が降ったり止んだり。水分をたっぷり含んでズルズル滑る急坂を慎重に下り、吊り橋を渡り、やっと林道に戻る。あとはペダルを漕ぐこともなく、重力に任せて自転車で八丁橋へ。

久しぶりの本格登山。足がプルプルと飲んでいました。雨の登山は、それはそれでまた楽し。



避難小屋横のマルバダケブキ（丸葉岳路）



避難小屋横にきた鹿



標高2017.1m



えくてびあんの輪	
えくてびあんはリストのお店にあります。 今日は 柴崎町・富士見町・緑町 のお店です。	
柴崎町	小林歯科クリニック…………… 527-8217 ビューティーサロン ウィスタリア 527-1116 オリオン書房 サザン店…………… 525-3111 WISH BONE…………… 527-7199 三船クリニック…………… 523-6693 西武信用金庫 立川南口支店 529-1311 たましん 南口支店…………… 528-2211 リオネットセンター立川…………… 523-3321 りそな銀行 立川支店…………… 522-4161 オリオン書房 アレア店…………… 521-2211 ほっとすべーず 中屋…………… 522-2932 立川ワシントンホテル…………… 548-3380 Coffee Shop LARGO…………… 525-6704 パッケージプラザ カサイ…………… 522-8601 ㈱けやき出版…………… 525-9909 はじめ治療院…………… 526-3519 ペーカリー&カフェ BAKU BAKU 527-2721 喫茶 ギャラリー花…………… 524-3668 髪職人 YOSHIZAWA…………… 522-5593 のーかる…………… 512-5415 矢沢歯科…………… 525-6600 ラ・フリーズシュクレ…………… 525-3513 キッチンコート立川店…………… 540-1131 LaLaLa…………… 090-2564-3198 スープ・カフェ なんでもない日 523-5114 武本測量㈱…………… 524-7731 立川市柴崎市民体育館…………… 523-5770 NPO 法人 東京賢治の学校 523-7112
富士見町	㈱浅見酒店…………… 522-2823 伊藤整骨院…………… 524-7861 手づくりケーキの店 プティ・パニエ 529-8364 さえき 西立食品館…………… 529-5333 西村歯科クリニック…………… 519-9501 井上レディースクリニック…………… 529-0111 中華レストラン 東華園…………… 529-0458 榎本調剤薬局…………… 526-2322 有料老人ホーム サンピナス立川 527-8866 飯塚花店…………… 522-5684 うさぎ専門店 ラッキーラビット 524-6054 ㈱ホーミー…………… 522-2220 カフェ・貸しホール ばくだん畑 522-2214 Café Cuisson…………… 090-6935-1227 波多野米店…………… 522-2884 立川市社会福祉協議会…………… 529-8323 桜井電材㈱…………… 523-5281 立川市歴史民俗資料館…………… 525-0860 乙黒東洋整骨院…………… 523-1859 インテリア アイアイ…………… 522-5972 たましん 富士見町支店…………… 528-1741 滝ノ上米店…………… 522-4019 ESPOA おぎの…………… 522-4500 建築リフォーム 南日防商会 0120-263-821 ㈱立川印刷所…………… 524-3268 松栄寿司…………… 524-6958 ふじみ食堂…………… 523-4791
緑町	国立国語研究所…………… 540-4300 国立極地研究所…………… 512-0652 南極・北極科学館…………… 512-0910 国文学研究資料館…………… 050-5533-2900

jorakugajo

真如苑提供番組「常楽我淨」

スカパー！：529ch

スカパー！で放送の常楽我淨はスマートフォンアプリ「ivy」（無料）で視聴できます。

J:COM 多摩：111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp

街の話題

立川初のアリーナです！

多摩都市モノレール立飛駅から見える〈アリーナ立川立飛〉が9月19日竣工です。立川に初めてできたアリーナは、観客席数が稼働式の1階席と2階席を合わせて約3000席。すでに10月からはプロバスケットボールリーグの試合が始まります。アルパルク東京のホーム試合が10月から12月までに11試合。バスケットの醍醐味を楽しみましょう！冷暖房が完備されているので、来年大相撲の夏巡業があるといいなと思うのはえくてびあんだけ？ 枚数もできたらもっとたくさん入れますものね。2020年も見据えて、これからが楽しみな〈アリーナ立川立飛〉です。

レンタサイクル始まりました

立川タクロス2階の駐輪場で電動アシスト自転車が借りられます。ヘルメットもついています。料金は発券機で前払い。6時間500円、12時間で800円、1日借りても1100円です。しかも自転車安全ビデオを視聴し会員登録すると100円割引されちゃいます。貸出は高校生以上、受付に写真身分証明書をお持ちください。場所は、立川駅北口西地区有料自転車駐車場、立川タクロスの2階です。お問い合わせは、指定管理者 日本コンピュータ・ダイナミクス 0120-3566-21まで。紅葉のシーズンになりますね。T-BIKEで立川の秋を満喫しましょう！

自衛消防審査会が開かれます

事業所になくてはならない「自衛消防隊」。毎年その審査会が開かれています。今年は10月12日（木）12時半から、多摩広域防災倉庫で行われます。新人教育の一環と言われて各事業所が取り組んでこられています。災害はちょっと待ってが通じません。いつ、どんな時も、先頭に立ってみんなの安全を守る、それが事業所自衛消防隊。みなさん、応援に来てくださいね！

英語解説はキャンベル館長！

立川立飛流鏑馬が面白いことになってきました。9月1日（金）、流鏑馬を主催する立飛ホールディングスの村山正道社長が国文学研究資料館を訪問。ロパート キャンベル館長に、流鏑馬開催当日の英語解説を依頼されました。キャンベル館長は「英語ですか？ 英語しゃべれないかも」などと冗談をおっしゃりながら快諾されました。立川ならではのコラボレーション、とても楽しみです。

立川立飛流鏑馬は、本年11月19日（日）、8月までヤギがいたみどり地区で開催されます。まもなく詳細は明らかにされますが、清和源氏の流れをくむ小笠原流の流鏑馬です。日本の伝統に触れられるビッグチャンス。そこにキャンベル館長の英語解説。清水市長も奉行役で馬に乗れるのだとか。流鏑馬は誰でも観ることができるので、ぜひ足をお運びください！

今も昔も

本年4月25日に発行したえくてびあん特集号「空の都 立川」に掲載したお祭りの写真。吾妻町時代の御神輿と太鼓は、当時のままに今も毎年神様をお祀りするので、曙二丁目南町会の御神酒所に行ってきました。今年も諏訪神社さまをお迎えし、皆さん揃って御神酒所開き。昭和初期、新井写真館さん撮影の写真と現代と。ここに立川の歴史があります。



真如苑男子隊の訓練の様子
(本年8月30日消防署で)



村山社長（左）とキャンベル館長

ここでしか見られない「鉄心斎文庫の世界」

「鉄心斎文庫」と言っても一般人にはなかなか意味がわからない。でも、実は大変なコレクションなのです。2016年、三和テック株式会社の社長でいらした故・芦澤新二氏、美佐さんご夫妻が40年をかけて収集してこられた資料約1000点で、その大半が『伊勢物語』に関連するという空前のコレクション。それらが2016年、国文学研究資料館に寄贈されました。昨年4月から6月、国文研ではその一部をお披露目として一般公開しましたが、今回は本格的な展示企画を開催します。題して「伊勢物語のかがやき―鉄心斎文庫の世界―」。会期は2017年10月11日（水）～12月16日（土）。ギャラリートークやセミナーも企画されていますし、なんとスマホやタブレットを使ってその場で関連情報を引き出し、複合的に伊勢物語を知ることができるのだとか。本物に出会えるまたとないチャンス、そして昔を昔で終わらせない国文研の取組みも楽しみです。国文学の最高峰を擁する立川市。地元立川市民は必見です！



「伊勢物語絵巻」 国文学研究資料館蔵

表紙の人

小林吉久さん、祐輔さん、智美さん
由衣那ちゃん、新くん

西砂町、中里神明囃子連の山車は、小林さんのお宅の敷地内に置いてあります。お囃子を立ち上げてから10年経ちました。小太鼓、大太鼓、しの笛、あたりがねで演奏し、ひょっこ、おかめ、狐や獅子が舞うお囃子を小林さんではお父さん、息子さんご夫婦、そして小さなお孫さんたちと三代で演じています。中里神明社のお祭り「中里ふるさと祭り」は秋祭り。今年は9月30日から10月1日に行われます。撮影のこの日は、日照時間がひと月で83時間余しかなかったという雨ばかりの8月。雷の鳴る豪雨の中での撮影になりました。準備万端、ずっと待っていてくれた由衣那ちゃん。泣きもせず、眠りもせず撮影に臨んでくれた新くん、本当にありがとうございました。おかげさまで素敵な写真が撮れました。

かたこと

◆この夏、連日の雨には本当に苦労しました。表紙の撮影では、ストロボを当てると雨粒がはっきり写ってしまうし、待てど暮らせど雨は止まない。思えば諏訪神社で柴崎町の市川さん親子三代をお祭り姿で撮った時も、いきなりの雷雨。お祭りに雷は付き物なのでしょうか◆みどり地区。ヤギが今年で最後だということで、立川花火大会もヤギと一緒に鑑賞しました。そして大雨。1列になって小屋に避難してきたヤギよりも、原っぱの真ん中にいたスタッフの方が濡れました。でもいい思い出です。かわいいヤギたちにまた会いたいですね◆えくてびあんが、国立極地研究所から感謝状をいただきました。極地研が立川に移転してこられた2009年から、広く市民にその存在や南極観測の大事を広報したことに對する感謝状だそうで、ありがたく頂戴しました。世界一の研究者が集まる「学術プラザ」。立川には「学術プラザ」があると、誰もが知る日が来るといいなと思います◆その極地研の白石所長が任期満了で退任されます。記念に、立飛ホールディングスさんの支援でえくてびあんのインタビュー集「立川の研究者たち 国立極地研究所編」が発行されます。お問い合わせは国立極地研究所 広報室へ◆すっかり秋の気配になりました。えくてびあんは今月も元氣にがんばります。

えくてびあんスタッフ一同

えくてびあん ⑨

10月号 第35巻 通巻395号

平成29年10月1日発行
発行 有限会社えくてびあん
〒190-0023
東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065
E-mail message@tamatebakonet.jp
URL <http://www.tamatebakonet.jp>
URL <http://www.tamatebakonet.jp>
発行人 黒須 環
企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ
デザイン 池田隆男（WATER DESIGN ASSOCIATES）
印刷 三浦印刷株式会社・DECK C.C.

無断転載を禁じます。

おじゃましま～す! ――[58]

かいじゅう屋

無農薬野菜の鈴木農園さん敷地内に、今年5月にオープンした小さなパン屋さん。ご夫婦おふたりのお店です。鈴木農園のマルシェ開催日の火曜と土曜が営業日。それ



童話に出てきそうなお店です

らいパン。何にも入れないシンプルなおパン。マフィンや焼き菓子もあり甘くない素朴な味です。「チョコチップコッペぱん」を買うつもりが、お話をうかがっている間に全部売り切れてしまいました。「まるぱん」を買って、新鮮キュウリをはさんでキューカンバーサンドイッチに。しっかりした「ぱん」は、バリバリのキュウリに全然負けてない。ごつごつした「くるみぱん」は薄くスライスしてお皿に並べたら、なんだか手が止まらなくなって完食です。こんもり木々が繁る森の中の小さなかわいいパン屋さん。電話がまだありません。明日焼く「ぱん」はブログでお知らせしています。

えくてびあんが大好きなくるみぱん



立川 LOVE

立川野菜とお店のコラボ

3



今月の野菜は西砂町の小山農園。生食用のカボチャやケール、色とりどりのジャガイモなど、立川市内だけでなく、都内の高級レストランでも使われている小山農園の西洋野菜。今月と来月は〈ビストロ・ヴァン マルシェ〉の五戸シェフが調理します。見た目美しく、食べておいしい「バーニャカウダ」と「野菜のテリーヌ」。野菜はやっぱり色ですね！

ワインと立川野菜を楽しむ
カウンタービストロ

ビストロ・ヴァン マルシェ

立川市柴崎町 3-7-7
SK 立川駅前ビル 3 階
TEL 042-595-6829

営業時間

ランチ 11:30 ~ 14:30

ディナー 17:30 ~ 23:00

(日曜、祝日は 22:00)

定休日なし

リュドコマンセナチュールの姉妹店です。